

平成29年度社会福祉法人国見町社会福祉協議会
事業計画

〔基本方針〕

- 高齢者人口の増加、少子化などの社会環境の変化と地域が抱える課題が多様化する中で、生活や健康への不安などの問題が深刻化しており、地域での人と人のつながりが、より重要となってきました。
- 高齢化率37%を超える国見町においても、団塊の世代が75歳以上になる2025年を見据え、公的な支援制度（共助、公助）だけでなく、地域における多様なささえあい（自助、互助）の仕組みづくりが求められており、高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を送ることができるよう、切れ目のないサービスを提供できる体制づくりが急務となっています。
- このような状況の中、社会福祉法に規定された「地域福祉を推進する中核的な団体」としての役割を担う社会福祉協議会は、地域特性を活かした新しい福祉の町づくりに挑戦していかなければなりません。
そのため、国見町社会福祉協議会としては、地域の課題や活動展開を再確認しつつ、地域の連携をさらに強化し住民の生活課題に沿って迅速かつ、きめ細かく対応しすべての人が住みなれた地域で安心して暮らし続けることができる地域社会の実現を目指します。
- 介護保険事業や障がい者施策等においては、利用者本位の良質なサービス提供の運営に努め、事業の推進に取り組みます。
また、地域包括支援センター運営事業においては、町の介護予防、日常生活支援総合事業（新しい総合事業）の実施に向け、介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される「地域包括ケアシステム」の構築の実現に向けた支援を町と協力して推進していきます。

〔重点目標〕

1 組織の充実強化

住民総参加による社会福祉協議会組織の充実強化を図るとともに、自主財源の確保と財政基盤の安定維持に努めます。

2 地域福祉活動事業の推進

地域で安心して自立した生活を営むために、共に助け合い、共に支え合うという意識を広め、地域でお互いの顔が見える人間関係づくりや生活課題の共有・共感を図りながら、地域に密着した地域福祉事業を推進します。

3 高齢者福祉の推進

地域における高齢者が、住み慣れた地域の中で孤立することなく、生きがい活動を通し、元気に安心して生活できるよう地域住民の参加と協力による支え合い・助け合いの活動のもと、日常的なふれあいや交流を行う場づくりを推進します。

また、地域における自主的運営を担う組織・団体等に助成及び活動支援を行います。

4 地域住民のボランティア活動の推進

ボランティア活動のニーズを把握し、コーディネートを行うとともに、ボランティアに対する研修会や活動を行っているボランティアへの支援を推進します。

5 介護サービス事業の充実

利用者の声に耳を傾けながら細やかなサービス提供を図っていきます。

また、職員の資質向上と各事業所の介護サービスの充実に努めていきます。

6 関係機関等との連携

各関係機関、福祉団体等との連携を図り、地域に定着した福祉活動を推進します。

7 東日本大震災被災者への継続支援

震災被災者への復興に向けた支援活動を継続します。

